

ワーキンググループの意見

- ◆ワーキンググループについて
 - ・3つのワーキンググループに分かれ、各グループ4～5名の構成
 - ・1回目8月24日、2回目10月25日に開催

- ◆A グループ：①各事業の上位概念となるストーリーが描けていないのではないか、**中小企業の「経営力強化」を軸に**事業を進めてはどうか
 - ②小樽には良い商品や飲食等が多いので、集めて“フェス”をプロモーションしてはどうか
- ◆B グループ：①創業支援について、**創業支援補助金の利用促進のため、家賃補助の期間延長など拡大**してはどうか
 - ②「技術開発促進事業費」新技術・新製品開発助成の申請手続きの簡略化や内容の明確化をしてはどうか
 - ③事業者が何の支援や助成が受けられるのか、フローチャート式のサイトを作ってはどうか
- ◆C グループ：①創業支援について、創業者は物件探しの負担が大きいため、民間やNPOが管理している不動産情報を一括検索できるポータルサイトを作ってはどうか。**創業支援補助金はターゲットとするべき“若い世代”や“移住者”に対し、家賃補助期間を延長**するなど拡大してはどうか
 - ②「小樽がらす市実行委員会補助金」実行員会で行う事業を、物販ではなく、グラスデザインコンテストに特化し、技術力をアピールすることでガラスの魅力を発信してはどうか

- ◆令和5年度に向けて

WGからの意見	既存の取組	R5に向けて
「経営力強化」の視点	制度融資 事業承継支援 経営力強化支援事業 ・女性復職支援 ・パッケージ作成支援 海外販路拡大 など	事業承継支援を進めるため、支援が必要となる市内事業者に対し、実態調査の実施やセミナーの開催を検討
「創業支援補助金」のターゲット	市内で新規創業する方に対し、①家賃補助（月額上限5万円、6か月間、商店街は12か月間）、②内外装工事費補助（上限50万、移住者の場合上限80万円）を実施	人口減対策（社会減対策）において、市内への移住を呼び込むため、内外装工事費の上限加算の対象に“若者”“女性”を追加する。 ※現在は“移住者”のみ

※他の意見については、令和6年度に向けて検討を行う。